

### 3月定例会の一般質問から

## 平成21年度当初予算 経済対策と第5次総合計画の実現に取り組み

**問**

今議会に提案された平成21年度当初予算案の一般会計の予算規模は、前年度比23%増の一千六百九十七億五千万円と、過去最大の予算規模となっており、大変厳しい財政状況の中で、積極的な予算であると大いに評価している。そこで次の2点について伺う。

①21年度予算の特徴は。 ②予算編成に先立ち、本市の景気回復・都市活力の向上・地場産業の支援のため、積極的な財政運営による各種事業・施策の予算化を会派から要望したが、どのように受け止め、取り組んだのか。

**答**

①21年度の予算は、第5次総合計画策定後に編成する初めての予算なので、



▲第5次総合計画のパンフレット

## LR T導入計画 市民にリスクや対応策の情報提供を

**問**

LR T導入計画に関して、次の3点を伺う。

①導入計画が実施された場合のリスクを提示し、市民の判断材料とすることが必要ではないかと思うが、考えを伺う。

②導入後、赤字補填を税投入で行うのであれば、計画の中で説明し、市民の理解を得る必要があると思うが、考えを伺う。

**答**

①市民が、判断できる十分な情報を提供することが重要である。

これまでの検討結果を踏まえ、利用者が減少した場合のリスクや対応策などを示しながら取り組んでいく。

②LR Tの事業運営については、自立のかつ継続的に健全な経営が可能な運営会社を基本に考えている。

今後、新交通システム検討委員会の意見等を踏まえ、運営会社が安定経営を図れるよう、行政としての役割について検討していく。

③LR Tの導入にあたっては、特にバスとの連携は必要不可欠であり、将来においても、バスは、市民の身近な足を支える重要な役割を担う公共交通機関であると認識している。

今後とも、バス事業者と十分協議しながら、利便性の高い公共交通ネットワークの実現に向け取り組んでいく。

## 市民の生活支援と消費拡大へ 定額給付金を各家庭へ速やかに

**問**

定額給付金は、厳しい家計に対する生活支援であり、個人消費に刺激を与え景気を支える重要な柱であり目玉でもある。そこで、次の3点について伺う。

①各家庭への申請書の郵送やその受付、振込み手続きなど、支給までの実施スケジュールは。

②速やかな事業実施に対する市長の決意と見解は。

③住民登録ができず、実質的に給付金が受け取れないDV被害者に対し、特段の配慮が必要と考えるが、その対応策は。

**答**

①申請書の郵送や申請受付開始時期は5月中旬ごろ、また支給開始の時期は6月中旬ごろになる見込みである。

②市民の生活支援策として、また、消費を増やし景気を下支えする

経済効果が期待できることから、一日も早い給付開始が必要と認識している。このため従事職員を増員し実施本部の体制を強化した。

③本市では全国の市町村に先駆け、DV被害者の救済施策に取り組んでいる。今回の給付事業についても、本市に居住しながら住民登録ができないDV被害者に対し、市の自主事業として定額給付金と同程度の給付事業の実施を検討している。

これらの質問等を受け、給付開始を前倒しすることとなりました。

申請受付開始 5月 7日～  
給付開始 5月28日～

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。  
定額給付金交付事業実施本部  
☎ 632-7492